

令和3年度 第1回練馬区立生涯学習センター運営懇談会 会議録(概要)

- 1 日時 令和3年10月26日(火) 午後3時~4時15分
- 2 場所 生涯学習センター 視聴覚室
- 3 出席者 川井委員、岡本委員、長富委員、田村委員
鈴木委員、住吉委員、山本委員、押田委員(社会教育主事)
(練馬区)文化・生涯学習課長
(事務局)生涯学習センター所長、副所長
- 4 欠席者 長田委員、井藤委員、中島委員
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第
 - (1) 挨拶
 - (2) 議題
令和2年度事業結果報告について
令和3年度事業結果報告(4月~9月)および事業予定について
主な事業の目標指数について
 - (3) その他
- 7 配布資料
 - 資料1 令和2年・3年度練馬区立生涯学習センター運営懇談会委員名簿
 - 資料2 令和2年度事業結果報告
 - 資料3 令和2年度施設利用実績
 - 資料4 令和3年度事業結果中間報告および事業予定
 - 資料5 令和3年度事業計画
 - 資料6 主な事業ごとの目標指数について
- 8 会議の概要
 - (1) 挨拶
稲永 陽子 文化・生涯学習課長挨拶

(2) 議題

令和2年度事業結果報告について

所長から資料2・3に基づき説明（内容省略）

令和3年度事業結果報告（4～9月）および事業予定について

所長から資料4・5に基づき説明（内容省略）

<座長> 皆さんには、生涯学習センターをご利用いただいているところで、ご意見を
いただきたいと思います。今日は人数が少ないので、おひとりずつどうぞ。

<委員> 新型コロナ感染拡大防止の観点から中止になっている事業が数多くあります。
参加人数が減っているものもあります。生涯学習センターは、今後、各団体に
まかせるだけでなく、生涯学習センターとしてどのように関わっていくつもり
なのでしょうか。

コロナ対策で定員の変更があり、分かりにくかったです。分館の窓口の人も
理解できていなかった。周知をしっかりとしてほしいです。

<委員> 緑ジョイ倶楽部で1人、あ・そ・ぶサイトを通じて1人の入会がありました。
まだ再開の見込みは立たないが、がんばっていきたいと思います。

<委員> 緑ジョイ倶楽部を2年連続開催させていただきました。全くの初心者から経
験者まで参加者の幅が広がったです。センターの方ともっと連絡を取って対象
を絞るなどの工夫をすればよかった、と思っています。連盟としても確固たる
方針を持たないままの実施となってしまったことを反省しています。活動継続
者を増やせるように努力していきます。

<座長> 細かな打ち合わせが必要だったかもしれません。今後に活かしていければよ
いと思います。

<委員> もう1点、子ども版の緑ジョイ倶楽部を設けてはいかがでしょうか。習い事
講座のようなものを開催していただければと思う。要望です。

<委員> 関連して、私は、将棋になるが、子ども向けの教室をやっていきたい。将棋
については、練馬区に由来から存在する団体との関係が難しいです。それらの
点について、センターの方に相談していきたいと思っています。

<座長> 長くやっている方、団体との関係は難しいですね。新しい輪を広げていけるような形になればよいですね。いい案が出たら良いかなと思います。

<委員> 私は青少年館の職員ですが、コロナに関する部屋の定員、注意事項については、国、東京都と方針が示されて、利用者の方にお伝えするのが、ギリギリになることがたびたびありました。この1年半はそういった混乱の連続でありました。これからも、皆さんに混乱の無いよう、事業展開を考えていきます。

<座長> 国の方針が伝わるのに確かに時間がかかります。私たちは、条件をよく考えて、事業の実施を考えていくことが必要ではないでしょうか。手工芸連盟が美術館で行った展示会は、定員 50%という条件を考え、展示物を途中で入れ替えるなどの工夫のうえ、実施しました。その結果、「こういうものを見るのはこんな時だからいいのよね。」という声を多くいただき、1000人弱入りました。期間を通して定員 50%以下の条件も守れました。区の方でも、中止にするだけではなく、どうしたら実施できるか、発想の転換も必要だった気がします。

生涯学習というのは、こういった、コロナ禍でも、人との関わりを保つ点で、非常に重要と考えます。

<委員> 私のサークルは、これまでは、新規会員の獲得に積極的ではありませんでした。したがって、このコロナ禍で縮小気味、知り合いだけの活動となってきています。仲間内だけの発表会ではなく、観客のいる前で発表したいです。コロナが納まった際には、よい発表会ができるように努力していきます。

<委員> 私のサークルでも同様です。会員も減少気味です。コロナが拍車をかけました。ねりま区報を使って会員募集を行ったところ、反応がありました。今後も仲間を増やす方法を考えていきたいと思っています。

<委員> 3点を確認したい。

最近、講演会を Web で行うケースも多いです。そうすると、「Web であれば参加する。」という人もいます。その人たちをサークル参加に結び付けられないでしょうか。

2点目。利用率を見ると、コロナ渦のもと、センターの減少率は大きく、分館のそれは小さい。この違いを分析することで、新しいアプローチの方法が見えてくるかもしれません。

最後に、生涯学習センターの出前講座の稼働率、稼働数の統計はあるのでし

ようか。教えてください。

<所長> 出前講座の稼働率、稼働数の統計は無いので、今後考えていく。

<座長> 分館利用率については、何か理由が無いとこのような結果にはならないでしょうね。区の方でも、使い勝手を良くする方法を考えて、貴重な施設の利用が広がるようにしていただけたらと思います。

<委員> 分館については、もともとの固定客があまり減少していないのと、広い駐車場があるのが要因だと思います。

<課長> 分館の稼働率については、掘り下げて考えてみたい。

<所長> 音楽室の利用は若干増えている。少人数の音楽の練習には、部屋が備えられ、分館は適している。

<委員> 校長判断で学校の練習が中止になったケースもあります。

<所長> 今まで出た意見に対していくつか、お答えする。団体への支援については、情報サイト、区報の活用を図っていく。

縁ジョイの受付については、実施サークルと職員の打ち合わせの場を設けていきたい。子ども向けの縁ジョイについては、既存施設との関係を含め、検討していきたい。

主な事業の目標指数について

所長から資料6に基づき説明（内容省略）

<座長> 今、説明がありました。ご意見はありますでしょうか。無ければ、最後に副座長から、お願いします。

<副座長> 目標を3つ掲げたのは評価できます。目標達成のためには、意欲を持ち続けたり、振り返りを行うなどの努力も必要です。それらは、生涯学習とは何かを考えるきっかけにもなると信じています。Plan Do Seeを行うことで、生涯学習センターの方針、運営のコンセプトがみんなの中で共有化できれば素晴らしいと思います。

利用者主体に目標を考えたことは良いことだと思います。満足度というのはキリがない。利用者には満足を与えるのではなく、納得を与えてほしいと思います。質疑応答、議論を深めることで得られる納得感、を高めたいと思います。ぜひ80%の達成を目指し、有言実行、努力してほしい。

<座長> いろいろな意見を吸い上げながら、ここが生涯学習の拠点なのだから、運営して行ってほしい、と思います。この懇談会も年2回というのは少ない。もっと密な話し合いが出来ればと思います。今日は少人数ですが、良い意見が出たと思います。

生涯学習をもう少し楽しむ方向に行ってもよいと思います。それでは、委員の皆さんありがとうございました。また、どうぞよろしくお願いします。